

## 私たちの使命

(Our Mission)

歴史  
(Past)  
教訓  
(Lesson)



未来  
(Future)  
伝承  
(Inheritance)

歴史の教訓を風化させず、次の世代へ伝承していく

過去の記憶・記録犠牲者の  
慰靈  
(御遺骨のお預かり)  
R5関東大震災「100年」  
R6東京大空襲「80年」  
R7終戦「80年」



防災：学び・気付き、  
来るべき災害への備え  
「想い」を今に、そして  
次代（子供達）へ伝承

## &lt;基本理念&gt;

震災・戦災のメモリアルパークとして「慰靈と伝承の場、都立横網町公園」の社会的価値の向上

慰靈



伝承

交流

指定管理者の責務	
1.	基本的な管理運営業務
2.	慰靈施設としての特別な責務
3.	社会的責任と多様性への対応
4.	法令遵守と専門性の確保

管理運営についての基本方針	
1.	過去を未来へつなぐ意義の発信と価値の向上
2.	命を尊ぶ静謐な環境の維持
3.	震災・戦災の記憶を風化させない
4.	歴史資源の保存・復元・修復
5.	公正で安全・安心な公園づくり

## &lt;現状の課題と対応の方向性&gt;

関東大震災および東京大空襲の遺族の高齢化、核家族化や世代間格差による後継者の減少、遺骨返還に関する問い合わせの減少など、歴史の風化が危ぶまれる今日、震災・戦災あわせて約163,000体の御靈をお祀りする横網町公園において、過去の記憶を伝承する取り組みの重要性は一層高まっています。こうした状況を踏まえ、横網町公園ならではの価値観と存在意義を維持・向上させるため、下記の考え方に基づき、高質なサービスの提供に努めます。

A:関係性の深化

B:出会いの拡大

遺族の方々、関係者たち、記憶と敬意を未来へつなぐ

新しい世代と多様な来園者への開かれた場づくり

B-1:新しい世代への対応

B-2:訪日外国人への対応

テーマ	基本的な考え方と取り組み方向	主な対象
都民協働	1. 慰靈と平和の心を軸に、地域との絆を強化する 2. 地域資源としての公園づくり	B-1
自主事業	1. 歴史と伝承・防災に則したイベント 2. 花や植物の関する緑のイベント	A B-1
共生社会	1. 多様な人々が集うユニバーサルな場の創出 2. アクセスibiliti拡充（ハード・ソフト）	B-1 B-2
グリーンビズ	1. 静謐な環境と緑化の強化 2. 慰靈の場としての配慮 3. 防災と景観機能の両立	A B-1



施設維持管理計画	取り組み内容
適切な維持管理を行うための取組	1. 計画的維持管理 2. 日常点検と迅速対応 3. 環境創出 4. 緊急時対応
社会課題へ対応するための取組	1. 事故未然防止 2. 気象災害対応 3. 地震災害対応 4. 感染症対策
施設補修、施設改良に関する要望への取組	1. 確認・調査・判断 2. 連携対応 3. 計画的資金管理
公園が持つ緑の特性を一層引き出すための維持管理	1. ゾーン管理 2. 生物多様性 3. 季節感と景観演出

## 都民協働や地域コミュニティとの連携による公園の魅力や地域の価値の向上につながる取組

- ・地域対話：自治会・学校・企業・NPOとの協働（アンケート・ミーティング）
- ・イベント：震災・防災フェア、花と緑・憩いの企画
- ・教育連携：平和学習支援、語り部育成支援、教育機関との共同研究
- ・協働モデル：企業・団体・ボランティアとの企画運営
- ・多世代交流：子ども・高齢者・世代間イベントの場づくり

## 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案

### ＜歴史・伝承・防災イベント（象徴的役割と歴史的価値の活用）＞

- ・慰霊堂音楽会：関係団体共催（プロ、学生）
- ・体験学習ツアー：道路整備保全公社共催
- ・首都防災ウィーク：講演会、フォーラム、イベント
- ・まちあるきガイドツアー：歴史散策年2回
- ・ぼうさいスタンプレーヤー：夏休み、春休み年2回

### ＜緑化・季節感イベント（グリーンビズ運動）＞

- ・献花展：春・秋彼岸、盂蘭盆会：年3回
- ・季節連動型ワークショップ：地域を花いっぱい、緑いっぱい活動

## 共生社会の実現に向けた取組

### ＜共生社会に向けた基本方針＞

歴史・文化の継承、防災・平和の発信を軸に、多様な人々が集い、学び、交流できる場を創出、公園の性格を活かし、誰もが安心して利用できるユニークな空間を整備（ハード・ソフト両面）

### ＜アクセシビリティ向上の具体策＞

- ・【ソフト面】ウェブアクセシビリティ方針策定・公開
- ・【ハード面】多言語対応・ピクトグラム導入により環境を整備

## 公園を舞台に緑を知り、親しむ「東京グリーンビズムーブメント」を展開するための取組

### 1. 静謐な環境づくりと緑化強化

- ・四季の草花やドングリの木で「命の循環」を体感
  - ・ミツバチの蜜源としての花木整備（安田学園）
  - ・日本庭園を都市のビオトープ・避難空間として活用
2. 慰霊空間の尊厳維持（樹木管理）
- ・樹木医による診断と丁寧な剪定・伐採
  - ・伐採枝葉の堆積による緑のリサイクル重視

### 3. 防災と景観の両立

- ・林泉式庭園の静けさを保ちつつ防火・林機能維持

### 4. 来園者の安全配慮

- ・園路沿いの樹木点検と剪定
- ・台風時の安全確認と注意喚起

### 5. 地域とのコミュニケーション

- ・アンケート・パークミーティングで意見反映
- ・学校・団体向けの学び支援とホスピタリティ重視



## 適切な維持管理を行うための取組

計画性と柔軟性を両立した運用

- 1.計画的維持管理
- 2.日常点検と迅速対応
- 3.環境創出
- 4.緊急時対応

## 社会課題へ対応するための取組

「事故のない公園」の実現へ4つの重点対策

- 1.事故未然防止
- 2.気象災害対応
- 3.地震災害対応
- 4.感染症対策

## 施設補修、施設改良に関する要望への取組

迅速・適切・協議的な対応体制

- 1.確認・調査・判断
- 2.連携対応
- 3.計画的資金管理

## 公園が持つ緑の特性を一層引き出すための維持管理

緑は都市の風格と市民の心の拠り所

- 1.ゾーン管理
- 2.生物多様性
- 3.季節感と景観演出